

科目名称	疾病の成り立ちと回復の促進 I (内部調節・運動機能障害)	学年学期	単位数	時間数
		第1学年 後期	1	30時間
担当教員	角南 典生 山本 晋 尾形 直則	授業に関わる 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (医師) <input type="checkbox"/> 無	

【1】 授業概要

疾病により心身機能が障害されると、様々な症状を引き起こし生活に影響を及ぼす。各症状の特徴や治療法について理解し、看護実践における観察や判断の根拠とする。この科目では、運動機能・脳神経・内分泌・代謝機能の障害によっておこる症状と主な疾患・治療について学ぶ。

【2】 学習目標

1. 代表的な骨や神経の名前と局在を説明できる。
2. 代表的な運動疾患の病態、治療、看護について説明できる。
3. RICE 処置、ギプス固定の方法や松葉杖の使用方法について説明できる。

【3】 第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
- 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
- 3. 地域の特性を看護に生かす力
- 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
- 5. 主体的に学び続ける力

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	運動器の解剖、機能	講義
2	運動器疾患の応急処置	講義
3	代表的な運動器疾患①	講義
4	代表的な運動器疾患②	講義
5	代表的な運動器疾患②	講義
6	頭痛疾患	講義
7	意識レベル 頭部外傷	講義
8	脳血管疾患	講義
9	脳卒中予防	講義
10	脳腫瘍 神経変性疾患	講義
11	内分泌総論、視床下部、下垂体の疾患	講義
12	甲状腺、副甲状腺、副腎の疾患	講義
13	糖尿病	講義
14	脂質異常症、肥満、痛風	講義
15	試験・まとめ	

【5】 評価方法

授業態度、レポート、筆記試験で総合的に評価する。

【6】 教科書

田中 栄:系統看護学講座 専門分野 成人看護学 10 運動器(第16版) 医学書院 2026(電子版)
井手 隆文:系統看護学講座 専門分野 成人看護学 7 脳・神経(第16版) 医学書院 2026(電子版)
吉岡 成人:系統看護学講座 専門分野 成人看護学 6 内分泌・代謝(第16版) 医学書院 2026(電子版)

【7】 参考書

配布プリント

【8】 受講生へのメッセージ

講義の内容により、担当講師が変わります。

内部調節、運動機能障害の成り立ちと症状、疾患、治療について理解し、看護実践に際しての観察や判断の根拠としてください。